

寒さに負けずがんばろう

暦の上では春間近ですが、まだまだ寒さの厳しい日が続いています。それでも、子供たちは寒さに負けず、元気いっぱい学校生活を送っています。

さて、4年生としての生活も残り2か月です。学習や清掃、当番の仕事等、目標をもって根気よく取り組む態度を身に付け、自信をもって高学年へ進級してほしいと思います。コロナウイルス感染拡大やインフルエンザの流行等が続いていますので、ご家庭でも、体調管理や規則正しい生活ができるような声かけ等、ご協力よろしくお願いします。



◇◇裁縫セットの展示をします◇◇

5年生から始まる家庭科の学習では、裁縫セットを使用します。つきましては、学習参観の時に見本を展示します。購入を希望される方は、申し込み袋を担任に提出してください。詳しくは後日、お知らせします。なお、授業で使用する練習布は、学校で一括して注文します。

また、卒業した兄弟の物等、お手持ちの物を使われるのもよいと思います。その際は、縫い針、まち針、針山、糸、糸切りはさみ、裁ちばさみ、チャコペンシル等の基本的な物と、持ち運び用のケースがそろっているか、確認をお願いします。

◇◇五感を活かした学びの魅力 ～リアルな経験が子供たちにもたらす成長～◇◇

2022年に実施された学習到達度調査(PISA)の結果が発表され、嬉しいことに日本の読解力が大幅に向上しました。文部科学省によれば、前回の2018年の調査で懸念されていた下降傾向が逆転した背景には、コロナ禍での休校期間が比較的短く、リアルな場での学びがしっかり行われたことを挙げています。リアルな場とは五感を使って学ぶ場であり、それを使って記憶の定着が図られます。以下、リアルな場が子供たちにとってどれほど意味があるのかを伝えたいと思います。



- (1) 人は物事を覚える際、複数の情報を結び付けて覚えるといわれています。ただの文字や記号だけではなく、色やイラストからの「視覚情報」、発音などの「音声情報」、そして教科書の触り心地や質感などの「触覚情報」、教科書や教室の「臭覚情報」まで、五感を使って情報にタグをつけて記憶しているそうです。そして、できるだけ多くのタグがあるほうが思い出しやすいとされています。
- (2) オンラインや録画などの学習では、都合がよいからといってその場での学習に十分に集中できないことがあります。また、端末等で調べた情報は、簡単に手に入るため、忘れやすくなるといわれています。これは「グーグル効果」と呼ばれているそうです。一方で、教室は子供たちにとって仲間と共に学ぶ素晴らしい場所です。算数科、国語科や社会科、理科の問題に取り組む中で、クラスメイトとの協力やアイデアの共有を通じて成長していきます。これが、子供たちの協調性やコミュニケーション能力を育む一助となっています。
- (3) 学校では五感を生かして新しい発見と学びが広がっています。図書室の本の香り、理科実験での触感、音楽の授業での楽器の響き等を感じることで、知識だけでなく感性や好奇心も引き出されています。

このように、学校での学びが、子供たちの未来への素晴らしい準備となります。計算力や言語力は、将来の挑戦に対する自信やスキルを築く基盤となります。学校で培った力は、子供たちが夢や目標に向かって歩む際の貴重な資産となるでしょう。

子供たちの学びと成長には、保護者の皆様の温かいサポートが欠かせません。これからも一緒に子供たちの成長を楽しんでいただければと思います。

